

才谷公民館が落成

高速道対策事業で

高速道関連対策事業として進められていた、才谷公民館の改築工事がこのほど完成、五月六日盛大に落成式が行われました。旧公民館は三十年前に建てられたもの。当時公民館活動が盛んに

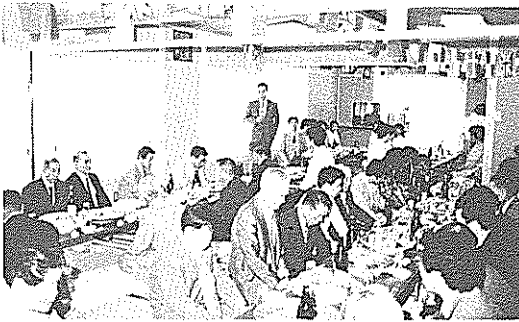
なつたころ、地元にも公民館をという声が上がったが、才谷地区は小さな集落で、資金もありませんでした。そんなとき、野市町にいらなくなった蚕屋があるという話を聞き、さっそく取り壊しに出

かけ、その古材を使い、地元の人があみんで協力して造ったのが以前の公民館。そして長い間、船礼や節句など幅広く利用されてきました。しかし三十年の歳月で傷みもひどく、早い建て直しが望まれていたところ、この地区に高速道

約七十人が出席し、盛大に行われた落成式



改築された木造2階建ての才谷公民館



つとして、この公民館が改築となったものです。

新しく改築された公民館は、木造二階建て、一階は共同作業場としても使用できるよう、土足で入れるようになっており、二階は十三畳の広さとなっています。

まず、地元住民ら百三十人が集まる中で、もち投げを行った後、二階広間に集まり落成式。岡英朗

“黒潮博”で タケノコを即売

公民館長が「りっぱにできたこの公民館を充実させるには、地区民の努力が大切です。地区の発展につながるよう、幅広く活用していきたい」とあいさつ。浜田助役らが祝辞を述べた後、宴に移り子どもも大人もいっしょになって、新しい公民館の完成を祝いました。

は柔らかく一番おいしいタケノコを直送。「南国みどり館」の出口前にテントを張り、まだ土の匂いも新鮮な「黄い子」が並べられると、「これは、おいしそう」と言つて、主婦の方にはなかなか好評でした。

「おいしい黄い子のタケノコは、いかが?」——「南国みどり館」前で四月二十六日から、タケノコの即売が始まり、上々の売れ行き。これは、市がタケノコ生産連絡協議会の協力を得て、市内でとれるおいしい旬のタケノコを、味わってもらおうと企画されたもの。連日、白木谷や瓶岩、奈路地区で、朝早くから掘り出された「黄い子」と呼ばれる、生食用として



「黄い子」のタケノコは好評